

世界に唯一無二の金日成主席の人柄

ネパール記者協会会長
マンジュ・ラトナ・サキヤ

2022年4月15日は、朝鮮人民の領袖金日成主席の誕生110周年を迎える日です。

朝鮮人民の太陽である金日成主席は万景台でお生まれになりました。

金日成主席の生誕は、抑圧されていた朝鮮人民にとって、そして全人類にとって一つの栄光でした。

金日成主席の生誕は、真の人生の時代、朝鮮の独立の時代を切り開きました。

金日成主席の生誕110周年に際して、全朝鮮人民は人民の自由と独立、社会進歩のための聖なる偉業に自分の生を捧げ、人類のために輝かしい功績を積み上げた金日成主席に最大の感謝と敬意を表しており、ネパール人民をはじめ世界のすべての進歩的人民は多彩な行事を催しています。

金日成主席は歴史の全時代、現在と明日を代表し、時代の進むべき道を示す革命の指導思想——チュチェ思想を創始した思想家・理論家でした。

金日成主席の接見を受けた世界の数多い国家元首と人士、学者は、われ知らず金日成主席と親しくなり、率直な対話を交わしたと言っています。

おそらくこれは金日成主席の広い度量、謙虚で誠実な品性に起因するでしょう。

金日成主席の人柄は、世界で唯一無二のものです。

国と民族のより大きな利益のために積み上げた金日成主席の歴史的功績を抜きにして朝鮮民主主義人民共和国の歴史について考えることはできません。

わたしは1979年6月19日、清津で金日成主席の接見を受けながら、直接目撃し体験した金日成主席の生涯と人柄の独特な長所にたいする記事を書いて出版しました。

金日成主席のこのような人柄は全朝鮮人民の心の中に深く根ざしており、まさにその人柄の感化力は朝鮮人民をして民族再建の課題を英雄的に遂行するようにしたのです。

金日成主席の人柄は、ある限られた地域ではなく、国の全域を包括したといつても過言ではありません。事実上、金日成主席の多面的な人柄は、朝鮮民主主義人民共和国の全面的な発展史の一ページを輝かしく飾りました。

党と国家活動によってご多忙な中でも金日成主席は、1979年6月19日、私たちを接見して談話を交わしました。金日成主席は、わたしを古い友人と呼びながら暖かく抱擁しました。

これは私の心に消しがたい貴重な追憶として残っています。

金日成主席と直接、忌憚のない対話を交わす機会を持つようになったのは、わたしにとって大きな幸運でした。わたしはそのときの追憶を忘れることができません。この日は私の生涯でとても重要な日です。

金日成主席はわたしが提起したすべての質問に回答を与えました。

わたしが提起した質問に答える前に、金日成主席はわたしに次のように述べています。

「あなたがたと平壌^{ピョンヤン}でお会いすべきでしたが、いま現地指導で地方に来ているため、遠いところまでおいでを願ってたいへん申し訳ありませんでした。ご了解願います。

わたしは、あなたがたのわが国訪問を熱烈に歓迎します。

わたしは、あなたがたが朝鮮人民とネパール人民の友好のために大いに努力しております、朝鮮人民に積極的な支持声援をよせていることにたいし感謝の意を表します。

とくに、ネパールジャーナリスト協会の委員長が、国の統一と社会主义建設をめざす朝鮮人民のたたかいに積極的な支持声援をよせ、わたしにたびたび祝電を送ってくださったことに感謝しています。わたしはきょう、あなたとはじめてお会いしますが、旧友に会ったような感じがします。きょうこうして会つたのですから、もう親しい友人になったも同然です。

わたしは、わが国とわたしにたいするあなたの心あたたまるお言葉に謝意を表します。そして朝鮮人民の祖国統一偉業に積極的な支持を表明してくださったことに感謝します。

わたしはきょう、あなたがたに会議の途中で会うことになりました。ごく短い時間ですが、あなたがたの提起した問題について簡単にお話しようと思います」

金日成主席は私が提起した質問に回答を与えました。

わたしが提起したすべての質問は、ネパールと朝鮮民主主義人民共和国との友好関係にかんするものでした。

談話の過程に私たちは、世界的に敬慕されている金日成主席についてもっと深く知るようになり、その日の体験はこんにちまでも私の心の中に消しがたい

追憶として残っています。

われわれ自身は、金日成主席の人柄に対する印象がどうしてわれわれの心の中にあれほど深く根ざしているのかと驚きを覚え、そんなときはどうしてそうなったのかを自問したりします。

その答えとして、われわれは訪問期間、わが代表団のメンバーに対する金日成主席の最も慈愛深く、親しい人柄について考えてみるようになります、まさにそれがわれわれをして大事な追憶を抱いて生きるようにする基本的動機であったと結論を下すようになります。

われわれは金日成主席と接見したその日に、われわれの宿望と念願がやがて叶えられたと考えました。

われわれは、金日成主席がわれわれとの談話のために貴重な時間を割いてくださったことについて実に恐縮な思いをし、われわれへの愛と心からの歓待を感じることができました。

われわれが金日成主席の兄弟的歓待を受けるようになったのは、実にりっぱな契機でした。私と共に対話を交わしながら、そして私が提起した多くの質問に答弁を与えながら金日成主席が示した気さくな人柄と深い愛は、私たちに金日成主席のもっとも優れた人柄の長所こそ朝鮮を進歩と繁栄の道へと導いた根本的要因であることを確認するようになりました。

私は1990年11月、朝鮮民主主義人民共和国を訪問しました。

1990年11月29日、ピョンヤンで私はまたもや偉大な金日成主席に質問を提起する機会を持ちました。

ネパールと朝鮮民主主義人民共和国間の友好関係と相互協力、理解をより強化していく上で提起される問題に対する私の質問に、金日成主席は次のような回答を与えました。

「朝鮮とネパールとの関係は歴史的に好ましく発展してきました。1974年5月、朝鮮民主主義人民共和国とネパール王国間に外交関係が樹立されて以来、両国人民は支持しあい、政治、経済、文化の各分野にわたって協力してきました。こんにち、朝鮮とネパールの友好・協力関係は両国政府と人民の共同の努力によって日ましに好ましく発展しています」

われわれは、訪問期間、すべての分野で朝鮮人民の生活水準を系統的に引き上げるため、国家がどのような必要な措置を講じているか、生き生きとした実例を目撃しました。

これらすべては、金日成主席によってもたらされた結果でした。

主席の貢献によって、全朝鮮人民は今日、富裕で幸福な生活をしているので

す。

われわれは訪問期間、教育分野で達成された驚くべき進歩について知り、朝鮮に対する数回の訪問過程を通じて、この国がすべての分野でずっと進んでいることを知りました。

朝鮮では、すべての子供のためにあらゆる近代的な設備が保障されています。世界で唯一に朝鮮民主主義人民共和国だけが完全な無料教育と無料治療を行っています。

老人や女性の福祉対策も講じられ、人びとはなんの心配もなく暮らしています。

実に朝鮮民主主義人民共和国はあらゆる搾取から解放されており、これは全朝鮮人民の勝利です。

政治的問題が提起されないので、朝鮮民主主義人民共和国は非常に速く発展しています。

全朝鮮人民は民族的団結の精神と愛国主義を胸に、金正恩総書記の正しい導きの下、いかなる外部勢力の干渉も受けすことなく国の自主権を守り、國の力強い発展を遂げています。

わたしは、朝鮮人民と共和国政府の関係があたかも魚と水の関係と同じであることを知りました。

朝鮮と世界の平和に対する金日成主席と偉大な金正日総書記の貢献は、世界史に金文字で刻まれるでしょう。

金日成主席の生誕 110 周年を迎える太陽節に際して、われわれは金日成主席に最大の敬意を表する次第です。

「わたしの心臓は今も受け入れていない。金日成主席がこれ以上われわれと共におられないという事実を…」

終わりに、われわれは金正恩総書記の安寧と繁栄を祈ります。